



小金井アートフル・アクション！ 市民とアーティストが協働した作品の制作「こどもたちのつくる宇宙。」
小金井市立さくら保育園 アーティスト：中島崇

教育、福祉、地域振興等、 社会や都市の課題に、 芸術文化の力を活用

- 芸術文化の力を活用して、教育、福祉や医療、
地域振興等の領域における課題の解決に貢献していく。
- NPOや企業等、様々な組織と協力・連携関係を構築し、
社会問題の解決を推進する先駆的、
実験的な取組を積極的に支援していく。



はじめての楽しいコンサート(青少年のための舞台芸術体験プログラム)

東京が持つ芸術文化の力

- 東京は、世界が経験したことのない超高齢化社会をはじめ、少子化、人口減少等、都市の課題が先鋭的に現れる都市である。芸術文化の視点から、これらの課題解決に向けた取組を牽引していくことが期待されている。
- 東京をはじめ日本は、東北の震災を経て、芸術文化によって生まれる人とのつながりや心のケアの重要性を経験した。
- 近年、芸術文化が教育、福祉や医療、地域振興などの面で大きな成果を挙げるなど、芸術文化ならではの解決方法を社会にもたらすようになってきている。それらの活動は地域の芸術文化活動として、NPOを中心に草の根の活動として広がりを見せつつある。

現在の取組例

- 都では、芸術文化を活用した被災地支援のため、被災地において現地のNPOや復興コーディネーター等と連携しながら、芸術文化イベントを展開するほか、東京都交響楽団による出張演奏やヘブンアーティスト公演を実施。
- NPO等が芸術家と連携し、高齢者福祉施設や児童福祉施設において芸術文化活動や芸術鑑賞を行うことにより生きる力を作り出す取組や、国籍などの文化的な背景が異なる人々が互いに理解し合うために、芸術文化活動に共同して取り組むイベントなども行われている。



子供たちの豊かな感性を育む芸術文化プログラム
〔「Museum Start あいうえの」
東京文化発信プロジェクト室、東京都美術館、東京藝術大学〕

施策の方向性

街づくり等における 課題の解決を推進する先駆的な 芸術文化活動や 実験的な取組の推進

- 地域のコミュニティーづくりなどにおいて、青少年や高齢者等の市民が芸術家やNPOなどとともにを行う芸術文化活動の取組を支援する。

東日本大震災の被災地や 全国の地域づくりの 取組などにおける、 芸術文化を用いた交流の場を創出

- 多彩な芸術文化活動により地域のにぎわいの創出を展開している芸術家やNPO等の先駆的な取組を積極的に発信し、東京から全国に広げていく。

子供や高齢者、外国人等と 芸術文化をつなぐ 民間活動への支援

- 子供の可能性を引き出すことを目的に、演劇ワークショップなどを展開する子供と芸術文化をつなぐNPOや芸術系大学の取組などを支援するとともに、民間文化施設と連携した取組を推進する。併せて、高齢者や外国人等と芸術文化をつなぐ民間団体や企業などの取組も支援する。

芸術文化以外の領域で活躍する 先駆者と芸術家などとの 異分野交流による新たな 社会問題解決手法の創造

- インターネットを活用したコミュニケーションソフトの開発者など、芸術文化以外の領域で活躍する先駆者と芸術家や芸術文化団体との交流を推進し、様々な社会問題の解決に取り組む。



ヘブンアーティストによる被災地支援

シンガポールにおける取組事例

ビジネスに適した環境を持つシンガポールであるが、芸術文化の分野においても、ナショナルアーツカウンシル(NAC)を中心に「他に類を見ない国際芸術都市シンガポール」をビジョンとした文化振興を展開している。

芸術文化の力を活用したコミュニティの形成



Celebration of Drums (2012)
(太鼓の祭典)

太鼓を使った演奏活動を展開するコミュニティ・ドラム・ネットワーク(CDN)が企画し、地域の多くの住民が参加する音楽会。

中華系などの多様な民族で構成される住民が、打楽器の演奏等を通して、地域の連帯感を育んでいる。



Super 24 (2012)
(スーパー24)

シンガポールの南西地区の地方組織が主催し、NACが共同出資する芸術祭「サウスウエスト・ディストリクト・アーツ・フェスティバル(SWDAF)」の中で行われたダンスコンテスト。

誰でも参加できる部門と学校単位で参加する部門があり、シンガポール中心部で流行っている文化を郊外に住む人々に紹介するとともに、若者をはじめとした幅広い人々の交流を促進する。



Kallang Arts Treats (2012)
(カラン地区 芸術のおやつ)

ナショナルアーツカウンシルでは、芸術文化を活用したコミュニティ拠点を各地に整備している。そのうちの一つであるカラン・コミュニティクラブでは、年間を通して、地域の住民を対象に、趣味や本格的な発表に向けた音楽やダンスなどのワークショップを実施している。

また、毎月の最終金曜日には、アーツ・トリーツ、アーツ・バイツと称して、バルーンアートなどの大道芸や、ダンス、音楽の発表会等のお祭りが催されている。



高齢者が参加する芸術文化活動

Small Works, Big Love by Justin Lee (2012)

(小さな作品、大きな愛)

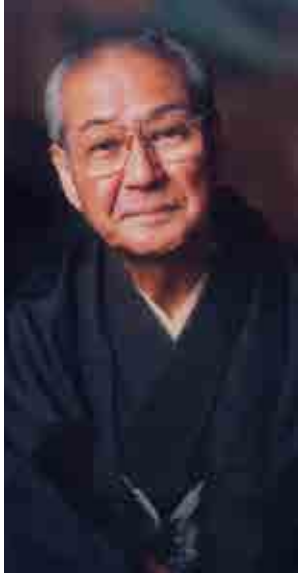
参加作家：ジャスティン・リー

ジャスティン氏は、キング・ジョージ大通り高齢者活動センターと共同で、絵を描いたことのない高齢者13人に、過去の自分の職業をテーマに、ステンシル版画のワークショップを実施。

また、自身の型紙を持ち寄り、大きなキャンバスに共同でステンシル版画を刷り、2012年9月に開催されたシルバー・アーツ展覧会にその作品を展示した。

ナショナルアーツカウンシル シンガポールが助成している事業の風景





Message from Man Nomura

能楽師(狂言和泉流)
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会会長
東京芸術文化評議会 評議員

の むら まん
野村萬 氏

東京文化ビジョンは、「文化芸術の咲き誇る都市―東京―」を実現するための豊かな土壌づくりの必要性を提示した画期的な報告書であります。

その中には、次代を担う子供たちが、芸術文化に触れるプロジェクトが数多く示されており、こうした体験は、子どもたちの心の成長を助け、心豊かな人生の支えとなり、自国の文化への愛着、理解力へと繋がる礎となります。2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックは、スポ

ーツの祭典のみならず、諸外国の方々が日本文化を見聞し、体験できる機会となります。自国の文化の素晴らしさを諸外国へ広くアピールし、世界的な文化都市として東京が位置づくには、子どもたちだけではなく、私たち一人一人が自国の文化に触れ、享受し、理解を深める大切な契機でもあります。

「東京文化ビジョン」の実現に向け、伝統芸能の担い手の一人として、微力ながら力を尽くして参りたいと存じます。

Message from Jyusuke Hanayagi



はな やぎ じゅ すけ
花柳壽輔 氏
花柳流四世宗家元
東京芸術文化評議会 評議員

東京から文化を世界に発信する

東京はニューヨークを抜いて世界トップのアートの街である。その芸術は西欧と合併し、更に新しいアートを生みつつある。音楽・演劇・舞踊然り、絵画・彫刻等から、オペラ・バレエ・ミュージカル、之等の芸術が何時何処でも観られる。其の上に伝統芸能と云う

日本独自の芸能が常に上演され続け、現代人に受け容れられている。雅楽・能・文楽・歌舞伎・日本舞踊、又邦楽と呼ばれるジャンルの芸能が他に類を見ない程の数がある。之ら日本独自の文化を世界に紹介し、更に之を広める事を今こそ考えるべきだと思う。